

令和3年11月8日

東京都知事
小池百合子様

一般社団法人東京都木材団体連合会
会長 渡辺 昭

令和4年度東京都予算編成に対する要望について

平素より木材の利用拡大につきまして、格段のご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども東京都木材団体連合会は、13会団により木材の流通を担当しており、傘下の組合員数は約900社で構成されており、江戸開府以来木材の集積・供給を担ってまいりました。

木材の利用は、人々の暮らし・山村地域の振興のみならず、他の資材と比べて製造時のエネルギー消費が少ないなど、地球環境の保全に大きく貢献するものであり、2050年カーボンニュートラルに向けた我が国の施策にも合致するものです。森林を保全し林業を通じて森林を守り育てるためにも、また、SDGsの観点からも、木材利用拡大に取り組みことが重要と考えております。

このようなことから、広範な都民の理解と支援を得つつ、

住宅、公共施設などの建築・外構はもとより、内装に至るまで木材利用が一層促進されるよう次の事項を要望いたします。

1 国産木材の需要拡大

新型コロナウイルス感染症等の影響や、「ウッドショック」による木材需給ひっ迫や木材価格高騰という厳しい状況にあり、住宅着工数の減少も顕在化し、国内木材需要の減退が懸念されております。

大消費地である都心部で、木の良さを発信するなど、国産木材の需要拡大に向けた取組を進めていただきたく、要望いたします。

2 内装への木材利用への支援

現在の我が国の住宅事情を見てみると、ストックは既に充足しており、新たな新築需要は期待できないばかりか、空き家が増える可能性が大きいと考えられます。しかしながら、質的には、断熱性能に於いては、世界と比べても著しく低い状況であります。室内環境を見てみると、壁面はほとんど石油化学製品であるクロス貼りが占めており、特に夏や冬の快適な住環境とは程遠い状況です。

そこで、住宅のリフォームにあたって、壁面や床に、スギやヒノキ等の国産木材を使用することで、室内環境は改善され、健康面や精神面に良い影響があることが期待されます。結果として医療費の削減効果さえ期待できるとも考えてお

ります。

このような木材の効用を活かすため、既の実施して頂いている「外構」等への木材利用の支援に加えて、「内装」への木材利用への支援への拡大を図っていただきたい。例えば、マンションや住宅のリフォームに国産木材をより多く活用していただけるような支援をお願い致します。

また、国産木材の良さを多くの人々に理解してもらうためにも、内装に木材を使用した場合の、人への効用・効果など、科学的な根拠の集積を東京都が主体となって進めていただきたい、お願いを申し上げます。